

# 地域密着型金融推進計画（2022年度実績）

2023年5月9日

淡陽信用組合

平成17年4月から令和5年3月までの地域密着型金融推進計画については、概ね計画どおり進めることが出来ました。

引き続きこれらの施策を着実に実行しつつ、中小零細事業者と個人の方々への円滑な資金供給や経営相談・経営支援・情報提供などの金融仲介機能を発揮し、付加価値の高いサービスの提供に努め、地域金融に対して十分な役割を果たせる信用組合をめざします。

## 地域密着型金融推進計画（2022年度）

推 進 項 目	取組み方針および具体的な施策	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		2022年度 通期計画	2022年度 通期実績
1. 取引先に対するコンサルティング機能の発揮			
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響拡大を踏まえた事業者の実情に応じた伴走支援	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要に対して迅速かつ適切な資金繰りの円滑化を図ると共に、継続的な伴走型支援を行う。</p> <p>②「事業再構築補助金」「ものづくり・商業・サービス補助金」等の応募申請の支援を行う。</p> <p>③経営者保証ガイドラインに基づいた取組みを推進する。</p>	<p>①兵庫県の「中小企業経営改善・成長力強化支援事業」に基づき、対象先への経営改善等の計画策定とフォローアップを行う。</p> <p>②補助金等の活用を通して、生産性の向上や稼ぐ力を高める。</p> <p>③事業の内容、将来性に基づき不動産担保、個人保証に過度に依存しない取組みを推進する。</p>	<p>①兵庫県の「中小企業経営改善・成長力強化支援事業」に基づき、対象446先と伴走支援に係る計画等を策定し、進捗状況確認等のフォローアップを行いました。</p> <p>②「事業再構築補助金」の申請に積極的に関与し、申請50件（第9次まで）、採択件数26件（第8次まで）の実績となりました。</p> <p>③経営者保証ガイドラインに則り、個人保証に過度に依存しない取組みを25件行いました。</p>
(2) 取引先のライフステージに応じた最適なソリューション（解決策）の提案	<p>①事業の発展や改善に向けた課題を取引先と共有し、解決に向けた「本業の支援（売上向上や企業価値向上に資する支援）」を行う。</p> <p>②課題や問題点を把握し、解決のための提案と解決策を支援する。</p> <p>③創業や第二創業者への積極的な支援をする。</p> <p>④外部専門家や外部機関と連携し、取引先の積極的な活用を促す。</p>	<p>①販路拡大支援、ビジネスマッチング、新事業展開、新製品（商品）開発、専門家派遣、外部機関活用、補助金の活用などの支援メニューを提案し、実現に向けた取組みを行う。</p> <p>②財務支援や事業計画策定支援、事業承継支援、人材確保など、問題解決に向けた積極的な提案と実現に向けた取組みを行う。</p> <p>③創業計画の策定支援や補助金・助成金の活用、日本政策金融公庫との連携提案などについて積極的に支援する。</p> <p>④兵庫県中小企業団体中央会や（公財）ひょうご産業活性化センター、信用保証協会などと連携し課題解決に向けた取組みを行う。</p>	<p>①「2022 しんくみ食のビジネスマッチング展」に5社が出展し2件が成約となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への継続的な伴走支援として「伴走支援型特別保証制度」の取組実績が289件となりました。</p> <p>②事業承継診断や約定返済軽減等ソリューション提案として126件の成果となりました。</p> <p>③創業者に対して創業計画の策定等積極的に関与し23件の成果となりました。</p> <p>④中央会との共催による「しっかいや相談会」は、WEBでの相談も含め、延べ57回の相談実績となりました。また、信用保証協会の外部専門家派遣による経営相談を13件承ったほか、同協会の経営診断サービスを利用し、416件の経営診断を行いました。</p>

推 進 項 目	取組み方針および具体的な施策	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		2022年度 通期計画	2022年度 通期実績
2. 地域の面的再生への積極的な参画			
(1) 地域活性化に向けた成長分野事業の育成や人材支援、創業・第二創業支援など地域経済への貢献	<p>①淡路島内、西はりまブロックの各自治体と連携して地方活性化策に積極的に参画する。</p> <p>②兵庫県や淡路市の淡路島北東部エリアでの大規模施設の誘致や島内進出に関心のある民間事業者の動向に注意し積極的に関与する。</p>	<p>①地公体の各種プロジェクトに対しての情報や民間の専門家人材の派遣等に積極的に関与する。</p> <p>②淡路島内への進出企業や個人事業者の飲食店開業や貸別荘新築等に関する事業計画や資金需要に積極的に対応する。</p>	<p>①「洲本市まち・ひと・しごと地域創生本部会議」への参加。また、「洲本市プレミアム商品券」「さよう元気な暮らし応援券」「南あわじ市連合商店街プレミアム付商品券」「五色町共通プレミアム付商品券」の換金業務に協力しました。</p> <p>②淡路島内への進出企業や個人事業者に対して、特に貸別荘新築計画に基づく資金需要において積極的な対応を行いました。北淡路地区における「食と健康」をテーマとしたPark-PFI事業に関して、他行と連携して参画しました。</p>
推 進 項 目	取組み方針および具体的な施策	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信		2022年度 通期計画	2022年度 通期実績
(1) 地域密着型金融の取組みに関する具体的な目標や成果について、地域や利用者に対する積極的な情報発信	<p>①地域貢献に関する情報の開示</p> <p>②社会貢献活動の開示</p> <p>③利用者満足度アンケート調査の改善</p> <p>④ホームページの充実</p> <p>⑤外部講師による講演会・セミナー等の開催周知</p>	<p>①広報誌（淡陽ニュース）の発行（5月・9月・1月の年3回）</p> <p>②献血運動・ピーターパンカード寄付金の贈呈</p> <p>③第17回利用者満足度アンケートの開示</p> <p>④ディスクロージャー誌、地域密着型金融の取組状況、キャンペーン情報等の開示</p> <p>⑤ 補助金・経営力向上関連セミナー、講演会等の開催</p>	<p>①5月、9月、1月に淡陽ニュースを1回あたり6,500部発行し、お客様や地域の方々に配布しました。</p> <p>②当組合の役職員60名が愛の献血運動に参加しました。また、青少年の育成に役立てていただくため、加古川市の児童養護施設播磨同仁学院に寄附金を贈呈しました。</p> <p>③令和5年2月6日～17日にかけて第17回利用者満足度アンケートを実施し、その結果を4月3日からホームページで公表しています。</p> <p>④ホームページに定期預金キャンペーンやディスクロージャー誌などを掲載し、お客様に有益な情報や当組合を知っていただくための情報を発信しました。</p> <p>⑤柔道家の篠原信一氏をお招きし、洲本市文化体育館文化ホールにおいて講演会を開催しました。</p>